

デジタル機器
(介護ロボット・ICT 機器) 等の
導入及び活用に関する実態調査
報告書

令和4年2月

社会福祉法人東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会
デジタル推進委員会

【調査目的】

本調査は、介護ロボット及びICT機器等（以下、機器）の導入及び活用の実態における課題の分析結果から、会員施設にとって有益な活用推進にかかる知見の共有及び情報提供を行うことを主眼として実施した。

特に、「導入」と「活用」は別物であるという仮説をもとに、それらの定義を明示し、デジタル推進委員会の検討において普及が進んでいると考えられる機器について、その実態を調査した。

●回答数

調査対象：596施設（特養：514、養護：32、軽費：50）

回答数：219施設（特養：187、養護：15、軽費：17）

回答率：36.7%（特養：36.4%、養護：46.9%、軽費：34%）

定員数（N：218）

・特養（n:187）

<表1>

選択肢	回答数	%
30名未満	3	1.6%
30名以上60名未満	25	13.4%
60名以上80名未満	32	17.1%
80名以上100名未満	43	23.0%
100名以上	84	44.9%

・養護（n:15）

<表2>

選択肢	回答数	%
30名以上50名未満	2	13.3%
60名以上80名未満	2	13.3%
80名以上100名未満	11	73.4%

・軽費・ケアハウス（n:16）

<表3>

選択肢	回答数	%
30名未満	7	43.8%
30名以上50名未満	4	25.0%
50名以上	5	31.2%

●回答結果

※各設問における合計値（N）は、各設問の回答数を表記している

問2 デジタル機器等の導入及び活用

～ 「導入」すれば「活用」できるは大きな間違い ～

※導入とは・・・機器を「目的をもって活用するために施設で購入等をする」こと

※活用とは・・・機器を「効果を期待して日常のオペレーションの中で運用する」こと

※以下の導入率（数）および活用率（数）については、特養の数値

問2-1 つぎの見守り支援機器の導入および活用状況

～ 導入率、活用率ともに高く実用的 ～

（1）安全系 - 画像確認タイプ（N：217）

例）ネオスケア、シルエット見守りセンサ

<表4>

選択肢	特養 (n:185)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	38	20.6%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	8	4.3%	0	0%	0	0%
導入していない	139	75.1%	15	100%	17	100%

導入率（数）：24.9%（46） 活用率（数）：82.6%（38）

（2）安全系 - 荷重変位測定タイプ（N：218）

例）見守りケアシステムM1、M2

<表5>

選択肢	特養 (n:187)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	59	31.6%	1	7.1%	1	5.9%
導入しているが、日常的な活用はない	3	1.6%	0	0%	0	0%
導入していない	125	66.8%	13	92.9%	16	94.1%

導入率（数）：33.2%（62） 活用率（数）：95.2%（59）

（3）バイタル測定タイプ（N：218）

例）眠りスキャン、aams

<表6>

選択肢	特養 (n:186)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	56	30.1%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	6	3.2%	0	0%	0	0%
導入していない	124	66.7%	15	100%	17	100%

導入率（数）：33.3%（62） 活用率（数）：90.3%（56）

★（1）～（3）のいずれかを導入している施設（特養のみ n:182）：57.1%（104）

問2-2 移乗支援機器の導入および活用状況

～ 「装着型」はマッスルスーツに軍配、「非装着型」は堅実 ～

(1) マッスルスーツ (N : 219)

<表7>

選択肢	特養 (n:187)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	7	3.7%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	22	11.8%	0	0%	0	0%
導入していない	158	84.5%	15	100%	17	100%

導入率 (数) : 15.5% (29) 活用率 (数) : 24.1% (7)

(2) HAL (N : 218)

<表8>

選択肢	特養 (n:186)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	1	0.5%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	8	4.3%	0	0%	0	0%
導入していない	177	95.2%	15	100%	17	100%

導入率 (数) : 4.8% (9) 活用率 (数) : 11.1% (1)

(3) Hug (N : 217)

<表9>

選択肢	特養 (n:185)		養護		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	10	5.4%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	1	0.5%	0	0%	0	0%
導入していない	174	94.1%	15	100%	17	100%

導入率 (数) : 5.9% (11) 活用率 (数) : 90.9% (1)

(4) その他、日常的に活用のある機種

- ・リショーン (2施設)
- ・SASUKE (2施設)
- ・愛移乗くん
- ・スカイリフト

問2-3 コミュニケーションロボットの導入および活用状況

～ 設定フリーの「PARO」は活用率 100% ～

(1) PARLO (N : 215)

<表10>

選択肢	特養 (n:183)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	2	1.1%	0	0%	1	5.9%
導入しているが、日常的な活用はない	6	3.3%	0	0%	0	0%
導入していない	175	95.6%	15	100%	16	94.1%

導入率 (数) : 4.4% (8) 活用率 (数) : 25.0% (2)

(2) PARO (N : 215)

<表11>

選択肢	特養 (n:184)		養護 (n:15)		軽費 (n:16)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	3	1.6%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	0	0%	0	0%	0	0%
導入していない	181	98.4%	15	100%	16	100%

導入率 (数) : 1.6% (3) 活用率 (数) : 100% (3)

(3) Pepper (N : 213)

<表12>

選択肢	特養 (n:182)		養護 (n:15)		軽費 (n:16)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	1	0.5%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	1	0.5%	0	0%	0	0%
導入していない	180	99.0%	15	100%	16	100%

導入率 (数) : 1.0% (2) 活用率 (数) : 50% (1)

(4) Sota (N : 211)

<表13>

選択肢	特養 (n:181)		養護 (n:14)		軽費 (n:16)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	1	0.6%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	1	0.6%	0	0%	0	0%
導入していない	179	98.8%	14	100%	16	100%

導入率 (数) : 1.2% (2) 活用率 (数) : 50% (1)

(5) その他、日常的に活用のある機種

- ・ なでなでネコちゃんDX2

問2-4 排泄支援機器の導入および活用状況

～ 導入は少ないが、比較的活用は進んでいる ～

(1) 排泄処理支援 (N:218)

例) ラップポン、ドリーマー

<表14>

選択肢	特養 (n:186)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	3	1.6%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	1	0.5%	1	6.7%	0	0%
導入していない	182	97.9%	14	93.3%	17	100%

導入率 (数): 2.1% (4) 活用率 (数): 75.0% (3)

(2) 排泄予測/排泄通知 (N:219)

例) Dfree、Helppad

<表15>

選択肢	特養 (n:187)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	2	1.1%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	1	0.5%	0	0%	0	0%
導入していない	184	98.4%	15	100%	17	100%

導入率 (数): 1.6% (3) 活用率 (数): 66.7% (2)

問2-5 ICT機器（見守り支援機器以外）の導入および活用状況

～ 職員連携に実用性、音声入力は期待外れ ～

(1) 音声入力ソフト（N：217）

<表16>

選択肢	特養 (n:186)		養護 (n:15)		軽費 (n:16)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	10	5.4%	0	0%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	17	9.1%	1	6.7%	0	0%
導入していない	159	85.5%	14	93.3%	16	100%

導入率（数）：14.5%（27） 活用率（数）：37.0%（10）

(2) 勤務表作成ソフト（N：218）

<表17>

選択肢	特養 (n:186)		養護 (n:15)		軽費 (n:16)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	20	10.8%	1	6.7%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	6	3.2%	0	0%	0	0%
導入していない	160	86.0%	14	93.3%	16	100%

導入率（数）：14.0%（26） 活用率（数）：76.9%（20）

(3) インカム（N：216）

<表18>

選択肢	特養 (n:184)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	43	23.4%	2	13.3%	0	0%
導入しているが、日常的な活用はない	2	1.1%	0	0%	0	0%
導入していない	139	75.5%	13	86.7%	17	100%

導入率（数）：24.5%（45） 活用率（数）：95.6%（43）

(4) チーム管理のためのシステム（N：214）

例）LINE WORKSなど

<表19>

選択肢	特養 (n:182)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	41	22.5%	2	13.3%	2	11.8%
導入しているが、日常的な活用はない	2	1.1%	0	0%	1	5.9%
導入していない	139	76.4%	13	86.7%	14	82.3%

導入率（数）：23.6%（43） 活用率（数）：95.3%（41）

問2-6 介護リフトの導入および活用状況（N：218）

～ 特養の1/3が活用する移乗介助の定番機器 ～

<表20>

選択肢	特養（n:186）		養護（n:15）		軽費（n:17）	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
導入していて、日常的な活用がある	65	34.9%	1	6.7%	1	5.9%
導入しているが、日常的な活用はない	15	8.1%	0	0%	1	5.9%
導入していない	106	57.0%	14	93.3%	15	88.2%

導入率（数）：43.0%（80） 活用率（数）：81.3%（65）

問2-7 貴施設で導入している介護記録ソフトの商品名

～ 各種乱立も、ほのぼのNEXTの導入が最多 ～

- ・ほのぼのNEXT（65施設） ・ケアカルテ（28施設） ・ワイズマン（15施設）
- ・福祉見聞録（11施設） ・ブルーオーシャンノート（7施設）
- ・福祉の森（6施設） ・ちょうじゅ※現ケアカルテ（5施設） ・絆（4施設）
- ・その他
（SCOP、FileMaker、富士通 Wincare、すこやかサン、Suncare、ファーストケア、ゆうあい、
ファイルメーカープロ18アドバンス、処遇管理システム、MIMOTE、MSアクセス）

【導入していない理由】

特養

- ・特に必要性を感じていない（3施設）
- ・今の状況においては必要性を感じない
- ・2022年4月に移転・増床する際に導入予定。
- ・導入できる環境にないため。
- ・機械浴を職員の方でカバーできているため
- ・古い職員の抵抗が強い為
- ・今年度のデジタル環境整備促進事業補助金により、タブレット、見守りシステム（眠りスキャン）を導入予定。
- ・区立施設であり、Wi-Fi環境がない。導入のためには、区の許可が必要であるため
- ・検討中のため
- ・今年度中に導入予定
- ・今後導入予定で東京都の補助事業に申請中

養護

- ・経済的余裕なく導入できていない
- ・エクセルで作成
- ・対象者がいなく必要がないため

軽費・ケアハウス

- 部署内の PC で個別記録を管理し、職員各自が入力しております。今のところ、ソフトの必要性はないと思います。
- 介護保険サービスを行っていないため、介護記録専用のソフトは導入していない。
- ACCESS による記録媒体のため
- 個別のケース記録ワード入力であるが、介護記録用ソフトは使用していない
- 現状の作業方式で問題ないため

問3 デジタル機器の活用に関連する施設の組織体制

～ 月1回の委員会の確実な開催が鍵 ～

問3-1 デジタル機器を推進するための定期的を開催する委員会等の設置 (N:217)

<表21>

選択肢	特養 (n:185)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
設置している	69	37.3%	2	13.3%	2	11.8%
設置していない	116	62.7%	13	86.7%	15	88.2%

問3-2 委員会等の計画上の開催頻度 (N:68)

<表22>

選択肢	特養 (n:65)		養護 (n:1)		軽費 (n:2)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
月1回	37	56.9%	1	100%	1	50.0%
月2回	4	6.2%	0	0%	0	0%
月3回	1	1.5%	0	0%	0	0%
毎週	1	1.5%	0	0%	0	0%
隔月	7	10.8%	0	0%	0	0%
その他	15	23.1%	0	0%	1	50.0%

問3-3 委員会等の実際の開催頻度 (N:67)

<表23>

選択肢	特養 (n:64)		養護 (n:1)		軽費 (n:2)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
月1回	38	59.4%	1	100%	1	50.0%
月2回	3	4.7%	0	0%	0	0%
月3回	1	1.6%	0	0%	0	0%
毎週	1	1.6%	0	0%	0	0%
隔月	6	9.4%	0	0%	0	0%
その他	15	23.4%	0	0%	1	50.0%

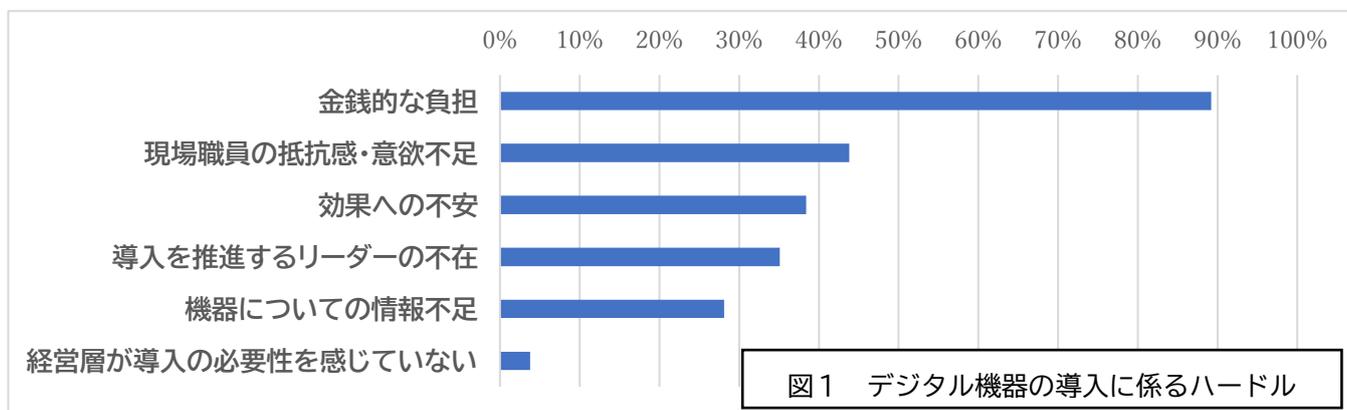
問4 デジタル機器の導入及び活用に関するハードル

～ 圧倒的な金銭的負担、現場職員のリテラシーも課題 ～

問4-1 デジタル機器の【導入】に係るハードル (N:215)

<表24>

選択肢	特養 (n:185)	
	回答数	%
金銭的な負担	165	89.2%
現場職員の抵抗感・意欲不足	81	43.8%
効果への不安	71	38.4%
導入を推進するリーダーの不在	65	35.1%
機器についての情報不足	52	28.1%
経営層が導入の必要性を感じていない	7	3.8%



<表25>

選択肢	養護 (n:14)	
	回答数	%
金銭的な負担	13	92.9%
機器についての情報不足	6	42.9%
導入を推進するリーダーの不在	6	42.9%
効果への不安	6	42.9%
現場職員の抵抗感・意欲不足	3	21.4%
経営層が導入の必要性を感じていない	3	21.4%

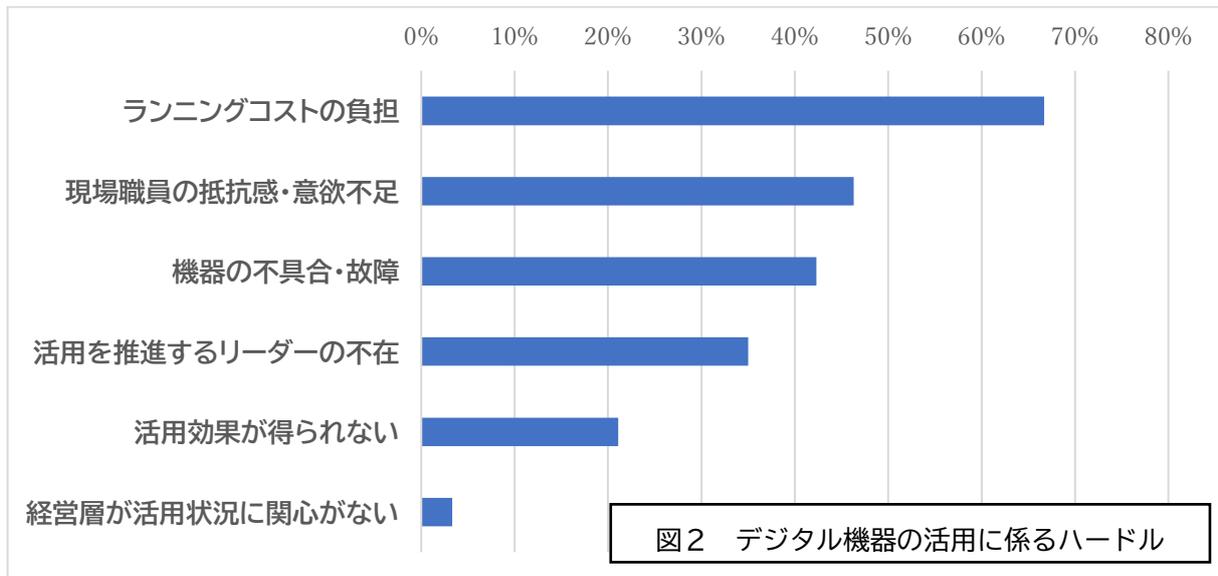
<表26>

選択肢	軽費 (n:16)	
	回答数	%
金銭的な負担	11	68.8%
現場職員の抵抗感・意欲不足	7	43.8%
機器についての情報不足	7	43.8%
効果への不安	5	31.3%
経営層が導入の必要性を感じていない	4	25.0%
導入を推進するリーダーの不在	3	18.8%

問4-2 デジタル機器の【活用】に係るハードル（N：134）

<表27>

選択肢	特養（n:123）	
	回答数	%
ランニングコストの負担	82	66.7%
現場職員の抵抗感・意欲不足	57	46.3%
機器の不具合・故障	52	42.3%
活用を推進するリーダーの不在	43	35.0%
活用効果が得られない	26	21.1%
経営層が活用状況に関心がない	4	3.3%



<表28>

選択肢	養護（n:2）	
	回答数	%
ランニングコストの負担	2	50.0%
活用を推進するリーダーの不在	2	50.0%
機器の不具合・故障	2	50.0%
経営層が活用状況に関心がない	2	50.0%
活用効果が得られない	1	25.0%
現場職員の抵抗感・意欲不足	0	0%

<表29>

選択肢	軽費（n:7）	
	回答数	%
ランニングコストの負担	5	71.4%
現場職員の抵抗感・意欲不足	3	42.9%
活用を推進するリーダーの不在	3	42.9%
活用効果が得られない	1	14.3%
経営層が活用状況に関心がない	1	14.3%
機器の不具合・故障	0	0%

問5 東京都が実施している導入支援補助金（介護保険施設等におけるデジタル環境等整備促進事業）についてのご意見、ご要望

～ 導入支援補助金の課題が明るみに ～

※以下、意見・要望に関する部分を抜粋し分類して掲載

【特養】

<補助率の改善を求める声>（7件）

- ・金銭的には100%補助でないとな法人本部のOKが取り付けられない。
- ・大変ありがたい制度ではございますが、補助率をあげて頂きたいと思えます。補助率のあがる導入推進事業まで手を回すことができない現状があります。
- ・導入を検討したいが、自己負担が1/2あるため財政的余裕もない。
- ・補助率を引き上げてもらえば導入も検討しやすい。
- ・導入時、補助金割合を100/100でないとな導入に踏み切れないのではないかな。一定額自己負担が生じる。
- ・福祉の経営状況があまり良くない事があり、東京都が全額補助して頂ければ、もっと活用していきたい。
- ・職員一人に1台タブレットや記録端末が必要と感じているが、導入コストがどうしてもかかってしまうため、東京都が思い切って一人1台支給するなど、大胆な取り組みが必要だと思えます。

<補助の回数制限の緩和>（5件）

- ・申請回数が法人で1度のみとなっているため、単年度で1回にして欲しい。
- ・法人で1回のみ申請で上限金額も法人単位（5特養運営）で考えると安い。今年度申請したため、今後は使えない。
- ・出来れば、一定期間後に再度申請させて頂けるとありがたいです。機器自体も一度入れれば終わりではないので、継続して頂けると良いと思えます。
- ・1法人1回限りの申請条件は、組織の活用能力に応じた発展的な機器の導入・活用推進の妨げになっている。申請条件を3年につき1回限り等に緩和いただき、介護現場改革にかかる継続的な施設支援をお願いしたい。
- ・とてもありがたい補助金ですが、日々進化しつづけるデジタル機器の導入に関しては1回切りではなく継続的に支援をお願いしたいです。

<補助対象施設の種別拡大>（4件）

- ・公設民営の施設にも補助金を出して欲しい。
- ・当施設は、公設民営なので活用できません。補助金が使えないからという理由で区に申請しても認められません。対象施設の制限を緩和していただければ幸いです。
- ・指定管理施設は対象外となっています。直営施設（あまりないとおもわれます）を除外するのは理解できます。指定管理施設は社会福祉法人が運営しているのに、除外されるのは公平でないと感じます。自治体は、補助金なしに高額の導入コストをかけて、指定管理者に環境整備することはしないのが通常だと考えます。
- ・指定管理者施設は補助対象外となり導入の妨げとなっている。

<補助対象の拡充>（9件）

- ・請求ソフトとは別に、記録に特化した記録支援システムを導入したが、請求まで一貫していないため、補助金がもらえない。柔軟性を持たせて欲しい。
- ・デジタル機器を今以上に充実させ、サービスの質を高めたいと思うが、補助金で導入する時は良いが、

- ソフトや機器の使用権やサポート更新等でのランニングコストがかなり掛かるため、躊躇してしまう。
- ・ デジタル機器は劣化が早く、短期間で更新が必要になるため、導入についてだけでなく、更新についての補助金もあると大変ありがたいです。
 - ・ 補助金額が上がっている。機材も進化している為、もう一年待ってから申請した方がよかったと後悔するような状況になっている。導入だけでなく、それを活用していくための補助金を継続的に頂けるとありがたい。
 - ・ 補助金については非常にありがたいが、導入事例等で導入時の経費だけでなく、継続してかかる費用についても何とか補助ができるようにしていただけるとありがたい。
 - ・ また高額なものを導入した後は高額な保守料がかかるため、そちらも考慮していただけると助かります。
 - ・ 対象となる機器をもっと増やして頂けると選択肢も広がると思います。
 - ・ 補助金申請準備を行ったが、その他の設備修繕費用負担が大きく、立替金の確保が難しかった。そのため申請を断念せざるを得ない状況となる。
 - ・ ランニングコストの補助や、高齢者施設には東京都の負担でフリーWi-Fiを設置するなど支援をしてほしい。

＜提出書類の簡素化＞（3件）

- ・ 申請書類をもっと簡単にしたい。
- ・ 申請の煩雑さが負担となり足踏みするという場合がありますので、考慮頂けると助かります。
- ・ 申請事務作業が大変だったので、これがもっと簡素化されると良いと思う。

＜施設単位での申請＞（4件）

- ・ 申請は、法人単位ではなく、施設単位にして欲しい。
- ・ 事務手続き簡素化として法人単位での申請かと思うが、施設ごとで運営状況が異なるので個別の申請が出来ると大変有難いと思う。
- ・ 法人での金額設定になっているため、法人内での優先順位が低いと補助金対象にならない。
- ・ 法人単位であり、自施設に使用できないため、補助金が少額で良いので1施設単位であると使いやすいと思います。

＜その他の意見・要望＞（2件）

- ・ コロナ禍で職員が濃厚接触者等になり休んでしまい、その穴埋めを主任・副主任がおこなっており、デジタル機器などの新しい取り組みをおこなう人的余裕がなかった。とにかく人の手当が難しいです。
- ・ 受付期間が短く、どの機器を選定したら良いのか、どの業者と契約すればトラブル無く納品・設置ができるのかわからず大変だった。見守り機器の評価を見ることができるホームページなどがあると便利だと思う。

【養護、軽費・ケアハウス】（4件）

- ・ 養護老人ホーム単体施設財政的余裕なし
- ・ 軽費老人ホームはいつも対象になるかならないか曖昧なのではっきりしてほしい。
- ・ ケアハウスも高齢化・介護度上昇・認知症発症の中、工夫次第で自立生活をサポートしている。介護になると社会保障費が膨れるので、ケアハウスの介護予防は重要な位置づけだと考えている。予防に対するデジタル化補助金があると良い
- ・ 定員20名以下の介護保険外事業所にも支援を希望いたします。

問6 国や都による介護ロボットや ICT 機器の体験展示ブース、相談窓口の利用状況

～ 多くの施設が体験・相談を希望 ～

問6-1-1 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム（厚生労働省事業）の利用状況（N：218）

<表30>

選択肢	特養 (n:186)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことがある	26	14.0%	0	0%	1	5.9%
利用したことはない	160	86.0%	15	100%	16	94.1%

問6-1-2 今後の利用希望（N：217）

<表31>

選択肢	特養 (n:185)		養護 (n:15)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
今後利用したい	136	73.5%	8	53.3%	6	35.3%
今後利用してみたいとは思わない	49	26.5%	7	46.7%	11	64.7%

※以下、理由に関する部分を抜粋し表現を整えて掲載

【利用したい理由】

- これまでに利用者ことがないため。
- 情報収集をして施設内で検討する資料（情報）を取得するため。
- 導入しようと思う機器に対する情報収集のため。
- 最新情報を得られるため。
- 介護ロボットやICT 機器について正しい情報を得ることができるから。
- 業務負担の軽減、生産性向上はしていきたいので。
- 導入するにあたって、職場内で研修していきたい。
- いろんな情報を共有していき活用したいと考えている。
- ご利用者へのサービス向上の為に、ICT 機器を積極的に活用し、介護職員の業務効率を図っていきたい。
- 効果等を聞いてみたい。
- 今後導入を検討する際参考にしていきたい。
- 必要に応じて利用したい。
- 機器の更新時期である。
- このようなサイトがあることを初めて知りましたので、機会があれば利用したいと思います。
- 具体的な利用については未定だが、情報として知っておきたい。
- 導入のための施設内準備ができていない（職員意識や担当者）今後、受入準備ができた際に活用していきたい。

- 希望の機器がある場合はぜひ購入前に試させて頂きたいと考えております。
- 今後、ICT 機器導入の必要性を感じているため。
- 適切な機器の選定、導入や適切な活用、運用についてのノウハウについてアドバイスを頂きたいと考えています。
- 効果の確認のため。
- 導入検討に役立てるため。
- 機器導入時の相談等に活用したいと思う。
- ICT 機器など興味はありますので 事業所に導入する目的をしっかりと把握していく 職員教育をしていきながら今後利用したい。
- メールなどではなく、直接相談が出来る方がいいと思うため。
- 機器は常に進化しており最新の情報が必要なため。
- 情報の確保の窓口として。
- 今後検討する中で、試用貸出できるなら試してみたい。
- 展示ブースまで距離があるので、コロナが落ち着いたら機器の体験に行ってみたい。
- 導入に関してアドバイスなどを受けたいため。
- 介護に関する ICT 機器については各企業年々精度が上がってきており最新機器を実体験で比較する必要があるため。
- 必要となれば利用したい。
- 今後参考にさせていただければと思います。
- 多くの情報を取り入れることができると考えているため。
- これまで利用したことがないので。
- 導入機器の情報収集、選定、予算の確保等の体制が整備されれば、利用を検討していきたい。
- 必要に応じて相談ができるから。
- 将来の導入に向けて情報はアップデートしておきたい。
- 介護技術の標準化を求めるため。
- 時代の変遷に対応するため。
- 情報が少なくどの機器の性能が良いのかわからないため。
- 業務改善が避けられないため。
- 良い機器が開発されたら検討の余地はある。
- 最新機器の試用や導入検討のため。
- 今後利用してみたいとも思う。
- 今回のアンケート入力にあたって知ったため。
- 新たな ICT 機器の導入を検討しているため。
- この事業自体把握していなかった。ぜひ、機会があれば利用したいと思います。
- 介護機器など事前に触れてみたこともあるが、入所者が変わることで、ひとつの機器に対象者が少なく、購入等に踏み切れない。相談することで最新の情報を知ることができる可能性がある。
- 実際の展示場で見てみたい。
- 情報収集として利用したい。
- 導入を検討しているため。
- 法人内他施設で実施しているため。

- 情報収集のため。
- 介護ロボットの効果について知りたい。
- 関心があるから。
- ご利用者の安全と職員の負担軽減の為に当施設に合うものがあれば前向きに導入をしていきたいと思えます
- 有用なら活用したいと思えます。
- 得られる効果を実感できれば。
- 導入にあたって、たくさんの情報が欲しいため。
- デジタル社会に対応していきたいと考えているから。
- HP をみて利用してみたいと思えました。
- 現状、取引業者との相談や提案に限られているため。
- 自施設で活用出来るか、確認したい。
- 介護ロボットを活用した現場の業務改善方法や導入事例などを知りたいため。
- 金額-数・着脱介護ロボットを試用してみたいため
- 安全性・利便性及び効果についての状況を把握した上で検討したい。
- 実際に利用して便利だったから。
- 予算的補助があれば考慮したい。
- 現在は必要ないが利用者の重度化が進んでいるため。
- 情報の収集の機会にしたい
- ケアハウス（介護予防）で利用できるものがあれば。
- 情報不足+知識の不足なため。

【利用してみたいとは思わない理由】

- 必要性をあまり感じないため。
- 相談している余裕がない。最終的には金銭的問題がクリアできない。
- 今は、必要と感じていないため。
- ロボットの導入予定がないため。
- 既に補助金を利用しての導入が決まっているため。
- 導入を推進するリーダーがいらないため。
- 役割などよく分からないので。
- 未だ具体的な検討段階に至っていない。
- 詳しく知らないため。
- 必要性を感じていないため。
- 介護ロボットの必要性を感じていない。
- 現時点では必要性を感じていない。
- 実用的に感じない。
- 時間的余裕がないため。
- 利用価値がわからない。
- 導入が見込めないため。
- 希望しているシステム対応がまだ整備されてない。（スマホ端末からの相談記録入力など）
- 補助対象になる内容で検討する。

- 大規模修繕前のため。
- 介護ロボット自体に懐疑的なため。
- 導入予定がないため。
- 施設職員が自ら希望する機器を調べたり、メーカーに問い合わせするなど、最新情報を収集することが出来ているため。

- （養護老人ホームのため）特養程介護を要する方が少なく、今のところ必要性を感じない。
- 養護老人ホームの現状では、必要性をあまり感じていない。
- 現状、必要性を感じないため。
- 業務効率化は検討したいが、介護需要が少ないため。
- 現時点で、対象となるものがないため、利用ができないと思われる。
- 軽費老人ホームの現状では、必要性をそれほど感じていない。
- 自立型のケアハウスのため、機器導入の必要性が少ない。また、施設の造りが木調で自然な雰囲気であるため、利用者様たちは機器導入に抵抗感があるとの意見が聞かれているため。
- 今のところ検討できる時間的余裕が全くない状況です。
- 基本、自立の方の施設なので、介護ロボットは考慮していない。
- 当施設では必要性がないため。

問 6-2-1 介護現場改革促進等事業体験展示コーナー
(東京都福祉保健財団) の利用状況 (N : 217)

<表 32>

選択肢	特養 (n:185)		養護 (n:14)		軽費 (n:17)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用したことがある	44	23.8%	0	0%	0	0%
利用したことはない	141	76.2%	15	100%	17	100%

問 6-2-2 今後の利用希望 (N : 215)

<表 33>

選択肢	特養 (n:184)		養護 (n:15)		軽費 (n:16)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
今後利用したい	135	73.4%	6	40.0%	5	31.2%
今後利用してみたい とは思わない	49	26.6%	9	60.0%	11	68.8%

※以下、理由に関する部分を抜粋し表現を整えて掲載

【利用したい理由】

- これまでに利用者ことがないため。
- 情報収集をして施設内で検討する資料（情報）を取得するため。
- 最新情報を得られるため。
- 介護現場の改革促進につながると思うから。
- 業務追われ情報不足になっている。現場の職員にも情報提供してお互いにもっと勉強が必要だと感じている。
- 実機を見たり、操作性を確認しながら検討してみたい。
- イメージが湧かない職員も多いので、担当職員に行かせたい。
- 介護技術の発展のため。
- 実際に目にすることで変えていける気がしたため。
- ご利用者へのサービス向上の為に、ICT 機器を積極的に活用し、介護職員の業務効率を図っていきたい。
- 実機を見て活用できるか判断したい。
- 今後導入を検討する際参考にしていきたい。
- 導入検討時、必要に応じて。
- 必要に応じて利用したい。
- 情報収集のため。
- このようなサイトがあることを初めて知りましたので、機会があれば利用したいと思います。
- 実際の機器を触り、見られるのは導入の際の判断に資すると考える。
- 機器確認できればしたい。
- 情報収集のため。
- 適切な機器の選定、導入や適切な活用、運用についてのノウハウについてアドバイスを頂きたいと考えています。

- 改革の実績と効果の確認のため。
- 施設内でのデモが出来ないものがあれば。
- 申請が必要な際には使用体験等の情報収集の為に活用したい。
- 同じ情報は不要だが、更新された情報があれば利用します。
- ICT 機器など興味はありますので 事業所に導入する目的をしっかりと把握していく。職員教育をしていながら今後利用したい。
- 実際に機器を体験しないと分からないことが多い。また機器への知識不足で施設の課題を解決できない可能性がある。
- 実際の機器に触れる機会ともなるため。
- 勉強のため。
- 少しずつ現場職員に情報を得てもらい、意欲的になっていってほしい。
- 特化型展示が入れ替わるので利用したいという関心が持続します。コロナが落ち着いたら職員を連れて機器の体験に行きたい。
- メーカーの展示室は言ったことがあるが、複数メーカーの機器が展示されて比較できるのではないかと期待がある。
- 現物を確認できるため。
- 介護に関する ICT 機器については各企業年々精度が上がってきており最新機器を実体験で比較する必要があるため。
- 実際に手に取って比較することが出来る。場にいる詳しい人に話が聞ける。
- 必要となれば利用したい。
- サービスに合ったものがあれば使用してみたいと思う。
- 実際に現場の職員を連れて体験したいのですが、町田市からは少々離れている為まだ利用できていません。
- 多くの情報を取り入れることができると考えているため。
- これまで利用したことがないので。
- 実際に体験したり、効果を確認できる場を持てると良い。
- 実際に体験できるから。
- 時間的余裕があれば、利用したいと思う。
- 将来の導入に向けて情報はアップデートしておきたい。
- 時代の流れもあり、情報を得たい。
- 業者の説明だけでは理解することは難しい。実際に体験できることで見えるものがある。
- 時代の変遷に対応するため。
- 情報が少なくどの機器の性能が良いのかわからないため。
- 関心が持てるような機器が開発されれば見に行きたい。
- 最新機器の試用及び職員教育のため。
- 今後、利用してみたいと思う。
- 新たな ICT 機器の導入を検討しているため。
- 機会があれば現場の職員と利用したいと思っています。
- 気になっているききが体験できるから。
- 介護職の勤務軽減や事務の効率化が必要と考えているため。
- 法人内他施設で実施しているため。

- 参考になる。
- 情報収集のため。
- 現場への導入を検討するため。
- 関心があるから。
- 導入検討している機器があるため。
- 得られる効果を実感できれば。
- 導入にあたって、たくさんの情報が欲しいため。
- デジタル機器の多様性を体験してみたいので。
- 働きやすい職場を作りたいと思います。
- HP をみて体験してみたいと思いました。
- 介護現場の改革に興味がある。
- 現状では難しいが、今後現場の状況が落ち着いたら実際に展示コーナーで実物を見たいと思う。
- どのような機器があるのか。また、導入の検討の参考として利用したい。
- 情報収集及び実機を確認してみたい。
- いろいろ体験してみたい。
- 介護ロボットは徐々に身近なものとなってきており、介護負担の軽減にも期待できるが、現場でどのように活用できるかをイメージするためにも、実際に現場で働くスタッフに目で見て触れて使ってみることが大切なので、ぜひ体験してみたい。
- 機器導入検討時は試してみたい。
- 以前活用して便利だった。コロナ禍だけにオンラインでの利用ができると便利。
- 介護現場の状況変化が著しいため。
- 現場の体力負担軽減のため（職員の高齢化が進んでいる）。
- 先ず情報収集したい。
- ケアハウス（介護予防）で利用できるものがあれば。
- 今後に向けて、職員と必要な情報は共有しておきたいと考えています。
- 今回のアンケートで存在を知ることができたため。
- 現状では元気高齢者または要支援者対応型施設である。現段階では必要とされる入所者様がいないものの長期入所を進める上で情報を得たい。

【利用してみたいとは思わない理由】

- 導入・検討の際には、実際のメーカーを見て回りたいから。
- 必要性を感じない。
- 時間的余裕がない。
- 最終的に金銭的問題がクリアできない。
- 今は、必要と感じていないため。
- 実際に施設の現場でデモをさせていただく機会がないと判断は難しい。
- 導入担当者がいないため。
- 内容が不明。
- 既に補助金を利用しての導入が決まっているため。
- 展示品の体験はしてみたいが、職員の休みの確保が出来なくなるため。

- 導入を推進するリーダーがいないため。
- 未だ具体的な検討段階に至っていない。
- 実際に機器を使っている施設へ行く、デモ機を自施設にもってきてもらう方法をとっている。
- 現在検討している機器の紹介ページがないため。
- 必要性を感じていないため。
- 現時点では必要性を感じていない。
- 施設の実態に合った機器がないため。
- 実際に入所されている方の反応や職員一人一人の使用後の感想を確認したいため。
- 一度は利用しても職員がたびたび利用するような感じではなく、感染症が流行している時期についてはなおさら活用がしにくいと感じている。
- コロナ禍で外出は自粛しています。今後は積極的に体験したい。
- 導入費用が高い。
- 大規模修繕前のため。
- 施設職員が自ら希望する機器を調べたり、メーカーに問い合わせするなど、最新情報を収集することが出来ているため。
- 業者より、デモ機をレンタルして施設で体験出来るため。
- 養護老人ホームの現状では、必要性をあまり感じていない。
- 養護老人ホームでは介護の需要は少ないため。
- 養護に適合する機器が見つからない。
- 現状、必要性を感じないため。
- 現状で導入予定がないので。
- 軽費老人ホームの現状では、必要性をそれほど感じていない。
- 現時点で、対象となるものがないため、利用ができないと思われる。
- 必要性を感じていない。
- 今のところ検討できる時間的余裕が全くない状況です。
- 介護施設ではないため。
- 基本、自立の方の施設なので、あまり必要性を感じない。
- 当施設では必要性がない為。

問7 委員会で企画するデジタル機器の導入体験レポートや活用事例発表等について、ご協力いただけることや情報提供いただける内容

～ 会員相互の底上げに見通し ～

※以下、表現を整えて掲載

<直ぐに協力が可能という意見> (33件)

- ・ 機器選定に伴う経緯や活用状況など。
- ・ できる限りすべてに協力したい。
- ・ 内容によっては可能。
- ・ デジタル機器の導入体験レポート等。
- ・ 作業時間が短いものなら可能。
- ・ 介護保険施設等におけるデジタル環境等整備促進事業について。
- ・ 協力は構わないが、活用機器の種類が少ない。現状ではあまり活用されていない。
- ・ 導入機器が見守り機器、インカムならびに社内SNSのみあるので特筆すべきことはないが、必要とあらば相談に応じます。
- ・ 業務スケジュール等に支障が出ない範囲。アンケートなど。
- ・ 導入機器選定までの流れや導入前の施設の課題。
- ・ 機器導入後の効果などを情報提供することは可能です。
- ・ R2年度の次世代介護機器のアドバンス施設として補助をもらいました。HUGを活用した経験ならばお話しできます。
- ・ 本年度介護現場改革促進事業において「離床センサー」「眠りスキャン」の活用事例を公開見学会でお話させていただきました。このような取り組みであればご協力させていただくことは可能です。
- ・ 公開見学会、活用事例発表など。
- ・ 令和3年8月開設の新規ユニット型特養で、「ケアカルテ」「眠りスキャン」「ナースコール」を連動させる「EGAOlink」導入したばかりだが、参考になるのであればお問い合わせください。
- ・ Line Worksのことでしたら協力可能です。他にも企画の趣旨に沿うかわかりませんが、独自開発したイントラネットや人事考課システムを使用しています。
- ・ 見守りセンサー、音声入力ソフトなど。
- ・ 導入機器選定方法と機器の使用方法。導入後の状況。
- ・ 軽微な負担であれば検討可能です。
- ・ 導入体験レポート。
- ・ 介護現場の意見を聞き取ってもらい、開発の助けになったらと思う。
- ・ 協力できることがあれば、協力いたします。
- ・ 令和3年4月に開催し、部分導入ではなく全体導入を図っております。また、複合施設であり高齢者施設・障害者と分けて、違うシステム導入をしています。
- ・ 見学等ご協力できるところはさせていただきますので、ご連絡ください。
- ・ 具体的なご依頼内容によってご検討させていただきたいと思えます。
- ・ 可能であるが、法人内の特養において集約的にデジタル化を進めているため、そちらにて実施をすることが望ましい。
- ・ 10月に福祉用具の研修受講を予定しています。福祉用具の導入の部分で色々と指導

を頂ければと思っておりますので、具体的なご協力内容がわかりませんが出来る範囲では協力をさせて頂きたいと考えております。

- 出来る限りの協力はいたします。
- 導入体験レポートであれば、協力可能です。
- 可能です。導入前と導入後で変化した点（職員の動きや入居者への影響等）レポートとして発表等は難しいと思いますが、情報レポートとして提出する事は可能です。
- 導入前から準備したことや活用するまでの順序や職員の意識の変化、活用前後の業務効率の変化など。アンケートや業務時間など導入前後で数値化しているため、その数値を情報提供することが可能です。
- デジタル機器の活用事例。
- マスルスーツは、年数が経過する程利用が減り、利用価値より欠点が目立ちだしている。業者にも何回か機種改良ができないか等お尋ねするも進展がない。ICT活用機器は委員会を設定し、職員全員が利用できるように工夫している。

<現在は協力が難しいという意見>（13件）

- シルエット見守りセンサーのみですので、今後、他機器の導入をして、事例発表出来るほどになれば可能ですが、今現在は不可と思います。
- 現状、介護ロボットなどを導入していないため、協力できません。
- その時導入していれば検討致します。
- ICT 機器に関して進めていきたいと考えていますし、そのためには他へのアウトプットも非常に重要だと考えています。しかしながら事例発表ができるほどの土壌はまだできていないのが現状です。
- 導入したのは aams 、見守りカメラ AXIS M1065-LW、ケアコムナースコールシステムの最新版への更新、PHS からスマホへの切り替えをし他機器との連動、全館 Wi-Fi の整備等ですが、Wi-Fi の電波の不具合が続いており、まだうまく活用しきれれていません。
- コロナが落ち着いたら可。
- ご協力できることがあればと思いますが、介護記録ソフトを含めこれから整備をしていく状況です。
- 当施設では発表等出来るような ICT 活用はしていません。ほのぼのをいれてるだけです。ナースコールなどはやっています。
- 発表するような機器の導入をしておらず、協力することはできません。
- 現在、コロナ対策に専念しているためできかねます。
- 既に自治体からの依頼で協力しているが、現場の負担感が強まるので、慎重になります。
- 可能。ただし、まだ導入予定がないため、具体的な内容は記載できず。
- 導入実機がないため、協力いたしかねるといったところですが、導入が決まりましたら、協力できると存じます。

問8 介護ロボットやICT機器の導入及び活用推進のために、高齢協（デジタル推進委員会）に期待すること

～ 精力的な委員会活動に期待 ～

※以下、期待に関する部分を抜粋し分類して掲載

【特養】

＜活用事例の報告会や研修会の開催＞（27件）

- ・ 現場の職員たち向けにわかりやすいセミナーとかあるといいかなと思います。
- ・ 機器の種類事に活用事例、効果測定等の職員向けと、管理者向けの費用対効果、人件費削減等の収支などの事例があると参考になります。
- ・ コロナ感染症のため、研修が減っていることが残念です。
- ・ 活用事例の案内を続けて欲しい。
- ・ 移乗支援機器の導入について、研修の中で事例発表を聞く機会が何度かありましたが、どの施設も上手く導入できていない（導入効果を得られていない）印象があります。導入の成功事例等の具体的な情報があれば知りたいです。
- ・ 今少しの間、導入実例等を確認しながら検討したいので、そのための機会を今後も増やしていただきたい。
- ・ 現場職員抵抗の軽減の為、うまく活用できて、従業員が喜んでいる施設の事例を、沢山提供頂ければ嬉しいです（同じ機器）。コロナが落ち着いたらぜひ見学を重ね、活用を推進したいと思っています。
- ・ 職員が業務用のスマホを一人1台持っているような働き方をしている施設があれば紹介して欲しいです。
- ・ 本当に有効な事例はぜひ共有したい。多くは、費用対効果が薄く、活かしきれていないと感じる。
- ・ 活用している施設の情報をいただけることが助かっています
- ・ 他施設での活用事例をご教示いただけると助かります。
- ・ 施設内での導入方法や取り組み方など、ご教示頂けると有難いです。
- ・ 導入事例における効果等、具体例を示してもらえるとありがたいと思います。
- ・ コロナ禍で導入施設への見学ができないため、オンラインでの紹介や質疑応答ができるような取り組みがあると有難いです。
- ・ すでに導入した施設のICT機器の評価を公表してもらいたい。また、どのように使用しているのか実例があるとわかりやすい。
- ・ 先行例の評価や評判が聞きたい。
- ・ コロナ禍でなかなか難しいかもしれませんが、現場が興味を示した機器について、既に導入している施設への見学会や体験等が出来るようになると良いと思います。
- ・ ICT機器の活用が当たり前の環境になりつつあるため、各施設の取り組み状況や活用方法、導入した機器の評価などを取りまとめて、情報提供をお願いしたい。
- ・ 導入に向け検討を進めたいと考えているが、どのようなプロセスを得て活用に結びついているのか、イメージできるような各施設の事例を伺えたらと思います。
- ・ 先行施設のICT機器を、利用者サービスにどう活用しているかという事例をご教授い

ただきたい。

- 導入した施設から使いこなせばよい機器ではあるが、現実的に必要に迫られないので、なかなか職員に浸透せずに定着できていないという話を聞いたことがある。
- インカムや装着型の移乗支援機器などでは、施設内での使いまわしで衛生的に気になるという意見も聞かれます。施設単位の導入支援も大切ですが、より個人使用が望ましい機器に関しては導入方法の検討も必要と考えます。
- 職員の年齢も年々高くなる中で、ご利用者さまのご年齢も高くなり、100歳以上の方の増加や介護の高い方が増えている状況です。お体や皮膚の状態が弱い方や認知症の症状が重くなっている方が多いため、ご利用者さまの安全と職員の負担軽減の為にこうした機器の導入は必要だと思えます。施設のハード面や職員、ご利用者方含めて、どんな機器があったら良いか、また導入の部分でも色々と今後も教えて頂けると助かります。よろしくお願い致します。
- 次世代介護機器に関しては「とりあえずやってみる」が大事だと考えていますが、並行して「組織の合意形成」も重要と考えています。また、現場で介護ロボット委員会の結成をしても、「どのように進めるべきなのか？」と疑問も多いかと思えます。会議の進め方や次世代介護機器の選定の仕方のアドバイス。そして、ケアの質を向上させるために導入するという感覚を皆で共有できるような方法が必要かと感じます。そのような内容の発信をしていただけたらうれしく思います。
- 近未来像をお示しいただければ幸いです。
- まだまだ発展途上にある介護ロボットやICT機器について、介護現場の視点に立って、仕事の効率・効果が得られる情報を引き続き発信してほしい。
- 活用している施設同士の情報交換会などで交流があると参考になると思います。また、導入を考えている施設に向けて実際に活用している施設見学に行かせていただけるとイメージが付きやすいと思います。

<補助金や機器の情報提供> (14件)

- 画像確認機器導入時の個人情報・プライバシー保護の説明、同意方法、文書のひな型等があると助かります。
- 最新機器の情報提供。
- 設備投資する余力がないため、補助金をもう少し活用しやすくするように働きかけてほしい(申請単位、補助率など)。また、都や厚労省関連以外の補助金があれば、紹介していただきたい。
- 使い勝手の良い機種、課題の多い機種などの情報交換。
- 機器(類似の物も含む)複数の情報等、比較があるとたすかります。
- いつも様々な情報を拝見させて頂き大変助かっております。
- 介護ロボットやICTに関する他団体との連携やそれに基づく情報提供など。
- 服薬管理のロボットや仕組みを提供して欲しいです。
- 服薬の内容や対象者を間違えないように、時間で提供できる仕組みが欲しいです。
- 新しい製品情報等。
- 今後とも最先端の情報提供をお願いしたい。
- 情報の提供。

- ・ 新しい流れについて情報提供していただければ、と思います。
- ・ 活用可能な補助金等の情報発信をお願いできればと思います。

<補助金の創設や要望活動> (14件)

- ・ 東京都等の補助金増額に対する要望書等の取り纏め。
- ・ 補助金が拡充されるともっと導入しやすくなると思います。
- ・ 100%に限りなく近い補助事業の創設に期待する。
- ・ 介護ロボットやICT機器はより良い機能のものが販売されていますが、まだまだ値段は高いです。より多くの施設が導入する為、補助額の増加などを検討してほしいです。
- ・ 介護報酬上の課題で予算計上を回ることが難しい状況下ではありますが、東京の介護、サービスの質向上のために各施設がICT導入を出来る様にお力添えをいただきたい。
- ・ 当施設は、公設民営なので制度の活用ができません。補助金が使えないからという理由で区に申請しても認められません。対象施設の制限を緩和していただければ幸いです。
- ・ 導入後のランニングコストが大きい為躊躇されている法人も多いのではないかと思います。導入後も活用していくために補助金を出して頂けるように働きかけて頂きたい。
- ・ 申請事務業務が簡素化されれば良いと思います。
- ・ 補助金/助成金の拡張及び導入手続きの簡略化。
- ・ 東京都へ補助金の交渉をしてほしい。また、現場の立場からのデジタル機器への声を反映してほしいです。
- ・ 現状、一部の居室で導入済みですが、予算の都合上全床に行き届いておらず、今後更に活用していきたいと考えているためその目的で使用できる補助金制度があると良いです。
- ・ ユニット型で曲がり角が多く、Wi-Fi環境構築に150万程費用がかかります。Wi-Fi環境構築に対して助成金が非対象なので、積極的に受け入れられるためにも検討して欲しい。
- ・ 補助金事業が創設されましたら、詳細をお知らせください。
- ・ 業界に普及させることができれば、それだけ導入しやすくなる為、普及活動及び補助金等に期待します。

<その他の期待すること> (25件)

- ・ 法人、施設により、活用レベルが違うと思うので、レベルに合わせた支援メニューがあると有難いです。
- ・ デモ機など 実際に施設でICT機器をためしに使用できるような企画などあればありがたいです。何分高価な買い物となりますので
- ・ ICT化や職員の労力負担軽減のため、各施設の先頭に立ち普及、啓発に尽力されていると感じています。ICT化を図ることのメリットを更に広め、東京の介護が日本の中でも先進的な取り組みとなるよう期待いたします。
- ・ どの機器も価格設定があまりにも高く、何故この機種がこの値段？と思う事が多々

あります。需要が不明な為、メーカーも大量生産に踏み切れず価格帯を上げ様子を見ているように思われます。

- この需要の情報を高齢協様が過去より蓄積されていると思いますので、上手く調整いただければと思います。
- 在宅サービスでは少しずつ進んできているようですが、施設サービスでは止まっているように思います。
- 腕時計式のバイタル測定など進まないのでしょうか。高齢者に強制的に腕時計をさせるのはどうかとの議論もあると思いますが。
- 介護記録ソフトについて、現在は施設が機能に合わせる状態となっている。そのために導入のスピード感が遅くなってしまうことがある。無駄な業務は省いていかなければならないが、もう少しソフトなどが現場に合わせるように情報がある程度まとめて発信できると良いのではないか。
- ICTを導入することで得られるメリット(記録の負担の軽減・腰痛予防など)、また、機器の体験がしやすい(車の試乗のように手軽にできる)
- 研究発表の促進や費用多効果の検証。
- 介護現場の意見を積極的に取り入れて使いやすいものの開発に力をお貸してください。
- 多くの施設は、見守りシステムよりもPHSのナースコールの設備更新が大きな課題だと思います。
- 参考事例として、どこかの企業との連携等で、施設の声を反映した商品開発していただけることを期待しています。
- とにかく、介護ロボットなどは、安価でレンタルできて、対象者が変われば、いろいろなものが使える状況になるとよい。(在宅で福祉用具のように)すべてが施設で購入などすることには抵抗がある。
- ICT機器に関しても同様でとにかく経費がかかりすぎてどのように継続していけるか、また、どんどん開発されている中で、より新しいものにシフトしていけるような体制等も介護業界全体として考える足掛かりになっていただけたらと思っています。
- HALの導入促進事業活用時に、導入検討に必要な情報が当初にきちんと示されず、導入決定後に相当額のランニングコストがかかることや講習を行うものの制限があること、売買契約であるのに返却を要する物権であることが説明されるなど仕組みに問題があった。促進事業への参画業者にはそのような齟齬が出ないような配慮をお願いしたい。
- [1]様々な機器を使用してのレポートや評価指標の公表[2]医療のPHR(電子カルテ)のようなものや、G-MISのような一元的に把握できるシステムの介護版があると良いと思いました。医療に負けない体制作りを期待します。
- 低価格を出来るだけ。
- 実際を見て説明を受けたいです。
- 誰でもすぐに使える物をお願いします。
- 導入後、活用に向けて中心となる職員の負担が大きく導入までではなく活用するまでメーカーのフォローがあると負担軽減できると思います。
- 令和元年度からICT機器を導入しております。3年目が経過しほとんどの機器の運用が行えるようになったが、活用して利用者個々のサービスに展開するまでには至っ

ていないのが課題となっている。

- 介護ロボットやICT機器の導入にあたっては、知識やトレンド情報があまりない中で検討していかなければならないので、いろいろな機器を取り扱っている各業者からの説明を複数聞いて、自分たちの介護や環境下において十分に活用できる機器が何なのか短い期間に決定していかなければならないのは、賭け的な部分もある。導入にあたっては、自分たちの状況、問題、環境を十分に理解した各種業者の介護ロボットやICT機器を熟知したアドバイザーが、業者と自分たちの間に立ち金銭面や定着の計画等も踏まえて親身になってアドバイスを言って頂ける人だと、要望や相談しやすく、メリットデメリットを理解した良い導入と定着が図れると考える。
- 現場では IT に詳しい職員がいない為に、コンサルタントの充実が必要です。
- 高齢者施設の底上げの為に協力お願い致します。

【養護】（2件）

- 養護老人ホームにおいても、今後は要介護度が高い人が増加していき、介護ロボットなども必要になってくる可能性は否定できない。しかし、コスト面などを考えると、安易に決めることもできず、また誰もが簡単に使えるのか？という不安もある。そういった不安などを解消すべく、発信を続けて頂ければと思う。
- 法人での導入について、経営層への理解を得るのが大変なので、各ICT機器の比較検討、研究の成果、導入事例、成功事例等の資料提供をいただきたい。また、高齢協からの導入の指示とかあると、導入しやすい。

【軽費】（3件）

- ケアハウス（介護予防）で利用できるものの情報提供。
- ケアハウスでも使える導入補助金の提案書作成。
- 他施設の活用事例を紹介いただけますと参考にしやすいと思います。

まとめ・考察

それぞれの機器に対する「導入率」、「活用率」を算出すると、施設種別（特養・養護・軽費）においては、特養に特化して「導入」「活用」が進んでいる実態が明らかになり、今後の調査における対象の選定にかかる示唆を得た。また「導入率」と「活用率」は、「率」そのものが示す普及の実態とともに、相互の高低のバランスに違いがあった。例えば「導入率」は高いが「活用率」は低い、あるいは「導入率」は低いが「活用率」は高いなどの特徴から、委員会がとるべき普及推進に向けたアプローチの手がかりとなった。

次に、東京都による導入支援補助金の充実に対する会員施設の期待を仮説として、「導入」「活用」それぞれにかかるハードルを明らかにするとともに、補助金の必要性とそれに対する利用上の現実的課題を捉えた。機器の「導入」「活用」の最たる障壁は金銭的な問題であり、補助金の使い勝手にかかる課題の解消に向けて、委員会に期待されるアクション（都に対する要望活動とその内容）が明確になった。

また、「導入」「活用」に向けた情報収集に役立つ体験展示コーナーや相談窓口といった公的資源の利用に関する設問は、利用の実態と今後の利用に向けた期待を明らかにした。設問そのものが公的資源の認知につながるとともに、公的資源に対する期待や利用の際の課題は、委員会による今後の連携の糸口として浮かび上がった。

さらに、事例報告会等を企画した場合に協力が得られるかを問う設問は、会員施設の「導入」「活用」事例を題材にした企画が展開できる可能性を見出すことに役立った。

最後に、委員会活動への期待を問う設問は、委員会の使命とアイデンティティー（会員のための委員会であること）を明らかにした。今後の活動の道しるべとして、次年度の委員会における事業計画の拠り所となった。